

登録コード	HM130200	開講年度	2026				
授業題目	集中治療医学特論					担当教員	今村 浩 他
英文授業名	Intensive Care Medicine					副担当	高山 浩史・問田 千晶
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1年次
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					・重症患者における侵襲とそれに対する生体反応を理解し、各種生命維持法の効果と限界について説明できる。	
(2)詳細/Detailed information	重症患者の病態生理を、時間軸を重視して臓器横断的に理解する力を身につける。						
(3)授業の概要/Overview of course	重症患者の病態生理を解析し、その脳神経、呼吸、循環、代謝、体液管理を学ぶとともに各種の生命維持法を理解する。この領域では近年新たなエビデンスが多数生まれているが、その検証と実臨床への応用時に生ずる問題点を考察する。						
(4)授業計画/Course plan	1回：集中治療医学総論 集中治療医学の進歩と歴史、将来展望についての理解を深める。 2回：急性循環不全 ショック時の病態と治療法に対する理解を深める。 3回：侵襲と生体反応 侵襲とそれに対する生体反応と各種治療法の現状について理解を深める。 4回：神経集中治療 脳保護法（脳低温療法を含む）、脳蘇生法に対する理解を深める。 5回：呼吸療法 高頻度振動換気、非侵襲的陽圧換気といった各種呼吸療法の理解を深める。 6回～15回：集中治療医学における諸問題 1回～5回で学んだ各種生命維持管理技術の実臨床への応用と今後の展望について理解を深める。 担当 今村 浩：第1,2回、6～15回 問田千晶：第3回 高山浩史：第4,5回						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	試験を受けるためには2/3以上の出席が必要である。 期末試験（100点満点）成績により決定。 得点率による評価基準は次の通りにする。90%以上：秀、80 - 89%：優、70 - 79%：良、60 - 69%：可、59%以下：不可						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	学生参加型の授業です。積極的な発言を期待します。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	E mailにて受け付けます。						
(8)授業の形式/Course format	講義、スライド、ビデオ、プリント						